

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスAYUMOおりおの		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	22026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様たちが意欲を持ち参加出来るような環境作り	お子さまの発達段階や特性に応じてプログラムを設定し、定期的に見直しを行っている。また、職員研修や事例検討を通して支援力の向上に努めている。	研修内容の体系化を図り、専門性の向上を継続する。あわせて、お子さま・保護者の方のニーズ把握を定期的に行い、プログラムへ反映させていく。
2	保護者の皆様との結びつき	親子通所で実際に支援場面を見ていただき、そのうえでフィードバックや普段の様子の共有を行う	保護者会の開催や家族会(自助会)の周知を強化し、保護者同士がつながれる機会を継続的に確保していく。
3	確立したプログラムの提供	運動療育による感覚統合に重点を置いた脳への働きかけにより 生活能力の土台となる感覚を整え、 その上に生活技術(学習・生活・対人スキル)を 積み上げるプログラムを提供する	職員間での意見交換や振り返りを通して内容を改善し、より専門性の高い支援プログラムの提供を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所外の交流の機会が少ない	平日の午前中や、土曜日にプログラムがあり、時間も1時間45分と時間が短い為、中々時間を取る事が難しい	他事業所との合同のイベントへの参加機会を計画的に設け、交流の場の充実を図る。
2	保護者同士の交流の機会や ペアレントトレーニング実施の機会が少ない	事業所単独での保護者会や体系的な ペアレントトレーニング実施体制が整っていないため。 また、開催機会や情報提供についての 周知が十分でない可能性がある。	自助・家族会「アユムーン」への開催案内方法の見直しを行い、参加しやすい周知体制を整える。 また、研修会や子育てに関する情報等についての周知方法についても工夫を行う。
3	柔軟なプログラム設定	プログラムの内容が確立しており、 半年間のサイクルを設定している為、 内容の大幅な変更が難しい	子ども達や保護者の方の意見を定期的に確認し、 ニーズを踏まえながらプログラム内容を柔軟に 見直せる体制づくりを行う。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスAYUMOおりおの		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様たちが意欲を持ち参加出来るような環境作り	お子さまの発達段階や特性に応じてプログラムを設定し、定期的に見直しを行っている。また、職員研修や事例検討を通して支援力の向上に努めている。	研修内容の体系化を図り、専門性の向上を継続する。あわせて、お子さま・保護者の方のニーズ把握を定期的に行い、プログラムへ反映させていく。
2	保護者の皆様との結びつき	送迎時にお会いした際に丁寧なヒアリングや情報共有を心掛ける また、連絡ノートや面談等で情報共有を行う	保護者会の開催や家族会(自助会)の周知を強化し、保護者同士がつながれる機会を継続的に確保していく。
3	確立したプログラムの提供に加え、土曜日や祝日の特別プログラムの提供	生活能力の土台となる感覚を整え、その上に生活技術(学習・生活・対人スキル)を積み上げるプログラムを提供している。 また、土曜日・祝日はクッキングやお出かけプログラムを行っている。	職員間での意見交換や振り返りを通して内容を改善し、より専門性の高い支援プログラムの提供を目指す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所外の交流の機会が少ない	地域の小学校に通っているお子さまがほとんどで、ニーズが少ない	他事業所との合同のイベントへの参加機会を計画的に設け、交流の場の充実を図る。
2	保護者同士の交流の機会やペアレントトレーニング実施の機会が少ない	事業所単独での保護者会や体系的なペアレントトレーニング実施体制が整っていないため。 また、開催機会や情報提供についての周知が十分でない可能性がある。	自助・家族会「アコムーン」への開催案内方法の見直しを行い、参加しやすい周知体制を整える。 また、研修会や子育てに関する情報等についての周知方法についても工夫を行う。
3	各種マニュアルの周知や計画内容の具体性、支援内容の説明について、一定の評価は得られているものの、「わからない」との回答も見られたことから、取り組み内容が十分に伝わっていない可能性がある。	書面での配布や説明の機会はあるが、内容が専門的で分かりづらい部分があることや、日常的に繰り返し伝える機会が少ないことが要因と考えられる。	マニュアルや計画内容について、面談時や保護者向け資料等で分かりやすく説明する機会を増やす。また、訓練実施状況や事故対応の流れについても定期的に情報共有を行い、透明性の向上を図る。